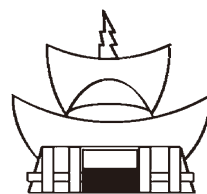


いおで

議会だより

2024.9



No.73



目次 CONTENTS

- 第2回定例会議決結果 2
 - 一般質問項目 3
 - 総務建設常任委員会行政視察 10
 - 厚生文教常任委員会行政視察 11
 - 連載：キラリVoice 12
- 9月議会の開催予定

作品名：いのちの重さ 9月は防災月間

撮影場所：大宮緑地総合運動公園

撮影者：いっちゃん さん

和歌山県 岩出市議会

編集／議会広報常任委員会

岩出市議会ホームページ <https://www.city.iwade.lg.jp/gikai/>

令和6年第2回定例会議決結果

◆ 全会一致の議案等

案 件 名	結 果
専決処分の承認を求めることについて（岩出市税条例の一部改正）	承認
専決処分の承認を求めることについて（岩出市都市計画税条例の一部改正）	承認
専決処分の承認を求めることについて（岩出市地方活力向上地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部改正）	承認
専決処分の承認を求めることについて（岩出市国民健康保険税条例の一部改正）	承認
専決処分の承認を求めることについて（令和5年度岩出市一般会計補正予算第7号）	承認
専決処分の承認を求めることについて（令和5年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算第4号）	承認
専決処分の承認を求めることについて（令和5年度岩出市介護保険特別会計補正予算第5号）	承認
専決処分の承認を求めることについて（令和5年度岩出市墓園事業特別会計補正予算第1号）	承認
岩出市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について	可決
監査委員条例の一部改正について	可決
岩出市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決
紀の川左岸高齢者等スポーツ広場設置及び管理条例の制定について	可決
岩出市ドッグラン広場設置及び管理条例の制定について	可決
緑あふれるまちづくり表彰選考委員会条例の一部改正について	可決
岩出市布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部改正について	可決
令和6年度岩出市一般会計補正予算（第1号）	可決
令和6年度岩出市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
令和6年度岩出市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
令和6年度岩出市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
市道路線の認定について	認定
紀の川左岸高齢者等スポーツ広場の指定管理者の指定について	可決
人権擁護委員候補者の推薦について（ ^{にしおか} 西岡 ^{まさみつ} 正光 氏）	適任
人権擁護委員候補者の推薦について（ ^{ふじわら} 藤原 ^{まさあき} 正章 氏）	適任
人権擁護委員候補者の推薦について（ ^{ひらの} 平野 ^{あけみ} 明美 氏）	適任
人権擁護委員候補者の推薦について（ ^{まつお} 松尾 ^{たかし} 隆 氏）	適任

◆ 賛否が分かれた議案等

案 件 名	結 果	「○」賛成 「×」反対 「－」賛否に加わっていない 「欠」欠席 ※ 議長は通常採決に加わらないため「/」としています。													
		公明党 議員団			日本共産 党議員団		創生 岩出		郁青青 クラブ			ネット岩出			
		奥田 富代子	大上 正春	玉田 隆紀	市来 利恵	増田 浩二	福山 晴美	梅田 哲也	尾和 正之	山本 重信	三栖 慎太郎	井神 慶久	田中 宏幸	福岡 進二	吉本 勸曜
令和6年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	×	×	○	○	－	○	○	○	/	○	○

※案件名は、正式議案名ではありません。

令和6年第2回定例会（6月議会）



一般質問

6人の議員が 市政を問う

- * 質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
- * 内容等については、質問者にお問い合わせください。

ふくおか しんじ 議員
福岡進二

4ページ

- ◎公共下水道整備事業について
- ◎こども誰でも通園制度について

ますだ こうじ 議員
増田浩二

8ページ

- ◎学校給食費無償化制度の実施を
- ◎補聴器購入補助制度の導入を

おお うえ まさ はる 議員
大上正春

5ページ

- ◎带状疱疹の予防について
- ◎軟骨伝導イヤホンの導入について

いち き り え 議員
市来利恵

9ページ

- ◎高齢者福祉支援について
- ◎市職員の処遇・環境改善、ジェンダー格差是正について

おく だ と よ こ 議員
奥田富代子

6ページ

- ◎こどもまんなか社会の推進について
- ◎子宮頸がんワクチンについて
- ◎根来寺の文化的価値について

お ね まさ ゆき 議員
尾和正之

7ページ

- ◎高齢者・障がい者にやさしい行政サービスについて
- ◎交通事故安全対策について



一般質問項目の事前公表 一般質問の質問者・項目は、事前にウェブサイトで公表しています。



ふくおか しんじ 議員
(ネット岩出)

現在の下水道整備状況は

下水道は、生活に欠かすことのできないインフラであり、道路側溝や水路に家庭排水が流れることなく、きれいな水を河川に流すことで、自然環境や水質保全のために、非常に重要な役割を担っている。

質問

- ①下水道整備状況の進捗割合は。
- ②現在の普及率の状況は。
- ③公共下水道事業の将来の方向性は。

答 弁 上下水道局長

①公共下水道事業全体計画1420ヘクタール、人口5万3200人の汚水処理する計画。

令和5年度末、整備済み面積は950ヘクタール、進捗率は66.9%

事業開始	平成13年度
事業期間	平成13年度～令和12年度
供用開始	平成20年12月
計画処理人口	53,200人
全体計画面積	1,420ha
事業計画区域(認可済)	1,287ha
整備管渠延長	約191km
マンホールトイレ数	11箇所/12箇所
終末処理場	那賀浄化センター



令和5年度末時点整備済図

なお、今年度の工事が完成すると、整備済み面積は1000ヘクタール、進捗率は70.4%となる計画。

②令和3年度末51.9%
令和4年度末55.3%
令和5年度末60.1%

答 弁 市長

③令和12年度の整備完了を目指し積極的に整備を進めてきたが、整備完了に向けて、土地利用の状況や費用対効果など様々な状況変化を勘案し、最終的な展望をもって、全体計画1420ヘクタールの早期事業完了を図るとともに、普及率向上と安定経営を目指して、積極的に取り組んでいく。

再 質 問

本市では新たな住宅建築や商業施設も多いが、下水道に接続していただくための取組は。

答 弁 上下水道局長

開発行為などに対しては、指導の徹底と、商業施設への戸別訪問等による積極的な接続要請を行

い、接続率の向上と経営安定に努める。

こども誰でも通園制度について

質問

- ①実施にあたっての課題は。
- ②本市で実施している一時保育事業との違いは。
- ③公立保育所での全保育士数は。

答 弁 生活福祉部長

①ニーズ量の把握、ニーズ量に応じた保育士の確保、受皿となる施設の確保、子供の安全性の確保が考えられる。

②一時保育事業の場合、生後8週から就学前まで、こども誰でも通園制度では、生後6か月から3歳未満までとなっている。利用条件については、



一時保育事業は、家庭において一時的に保育が困難となった場合や、子育てに係る保護者の負担を軽減する場合。

一方、こども誰でも通園制度は、全ての家庭に対して、働き方やライフスタイルにかかわらず利用できる制度となっている。

③令和6年4月1日現在、正職員の保育士48人、会計年度任用職員の保育士46人の計94人。



おおうえ まさはる 議員
(公明党議員団)

带状疱疹ワクチン 接種の助成を

質問

①带状疱疹についての相談や医療関係などの問合せの現状は。

②全国的に発症数が増えていることについて、本市の見解は。

③带状疱疹やその予防について市民への周知は。

④带状疱疹ワクチンの効果について。

答 弁 生活福祉部長

①带状疱疹ワクチンを接種できる医療機関や助成についての問合せは数件ある。

②带状疱疹は50歳以上で増加し、80歳までに約3人に1人がかかるとされており、本市でも带状疱疹の発症数は増加しているものと考えている。

③免疫力を低下させない生活を送ることが重要であることから、日頃から

生活習慣等に気をつけ、带状疱疹の予防に努めていただけるよう、市ウェブサイトに「带状疱疹ってどんな病気？」という記事を掲載している。



④带状疱疹ワクチンは带状疱疹の発症及び重症化の予防に期待できるものと考えている。

再 質 問

市民の健康を守るために、带状疱疹ワクチン接種の助成を。

答 弁 生活福祉部長

助成する自治体が増加しており、和歌山県で現在17自治体が助成を行っている。

本市においても実施に向け作業を進めていく。

軟骨伝導イヤホンについて

質問

①窓口業務において、耳の聞こえづらい市民への対応はどうしているのか。

②軟骨伝導イヤホンについて、本市の認識は。

③安価で清潔に使える軟骨伝導イヤホンの窓口設置の考えは。

答 弁 生活福祉部長

①社会福祉課窓口には、磁気によって音を伝えるヒアリンググループ補聴システムを設置。保険介護課窓口では、対話支援機器コミュニケーションを4台設置、そのうち2台はモバイル型で他課の窓口など必要な場所に移動して使用している。

答 弁 総務部長

①市民課と税務課の窓口では、耳マーク看板を設置し、個人情報に留意した上で、耳元に寄り添い話す、指さしや身振りをしている、筆談などの対応をしている。



②軟骨伝導イヤホンは、耳の周辺の軟骨を通して音を伝える新技術を活用したイヤホンで、耳の穴を完全に塞がないため汚れにくく、周囲の音も聞こえるメリットがある。

③現在使用している対話支援機器や補聴システムの活用に合わせて、職員の丁寧な接遇の実施で、聞こえづらい等の苦情や意見はない。

現在、設置の考えはないが、窓口や既存の補聴システムなどの状況を見ながら勘案していく。

こどもまんなか社会の 推進を



おくだ とよこ 議員
(公明党議員団)



子ども食堂

少子化は日本が直面する最大の危機である。

今国会では少子化対策を強化する「改正子ども・子育て支援法」が成立した。子ども医療費無償化をする自治体への減額調整措置（ペナルティ）も4月から廃止された。

質問

①県の2分の1を補助する制度を活用した、学校給食費無償の取組状況は。
②18歳までの子ども医療費無償化の考えは。

③子ども食堂の開設状況は。

答 弁 教育長

①7月に要綱を提示、9月に申請受付が始まると聞いている。県の要綱が明確に示された時点で参画への可否を判断する。

答 弁 生活福祉部長

②各福祉サービスのバランスを見極めながら、検討していきたいと考えている。

③令和6年4月現在、4施設。県は6月、和歌山県子ども食堂応援ネットワークを設立した。本市も県及び各関係団体と連携し、設置促進に努める。

子宮頸がんワクチンについて

日本では毎年約1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約2900人の女性死亡している。2013年、子宮頸がんワクチンが定期接種化された。国が子宮頸がんワクチンの積極的勧奨を差し控えていた時期の対象者へのキャッチアップ接種

は、本年度で終了する。

質問

①対象者の認知度が低いと言われている。本市の状況は。

②キャッチアップ接種が始まってからの接種状況は。

答 弁 生活福祉部長

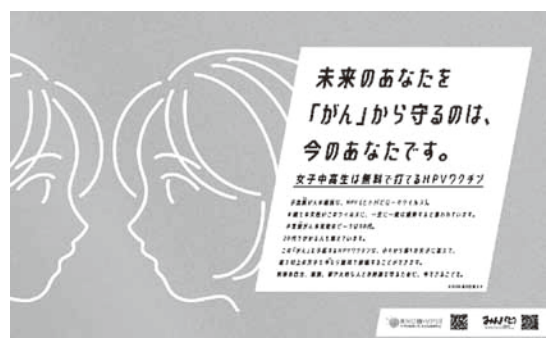
①接種の機会を失った平成9年4月2日生まれから平成20年4月1日生まれまでの女子に、個別通知で接種勧奨を実施している。

②令和4年度は2123人中246人。令和5年度は2176人中375人。令和6年度の対象者は2204人である。

根来寺の文化的価値について

岩出の歴史を考える会で、根来寺の歴史と葛城修験を中心し、ふるさと岩出の歩みを学んだ。

中世のヨーロッパで発行された世界地図に根来が記載されていることや、宣教師ザビエルが本国に送った書簡では、日本の



大きな大学のひとつとして根来の名があり、葛城修験は99番目の日本遺産と学んだ。

質問

①小中学生が郷土の文化財について学ぶ機会はあるのか。

②歴史資料館で埋蔵文化財や、資料映像を見学する機会はあるのか。

答 弁 教育部長

①ふるさと教育出前教室を実施している。

②ねごろ歴史の丘各施設において、文化財に触れる機会を増やしていく。

きめ細やかな サービスとは

今議会でも市長が、支援の一つとして、高齢者のみ世帯水道料金減額事業を実施すると行政報告を行った。今後もあらゆる世代に対して、バランスの取れた支援対策の取組を行っていただきたい。

寄り添う行政は大切

質問

高齢者・障がい者に優しい行政サービスについて

①市役所や公共施設に訪問した際、高齢者や障がい



おわ まさゆき 議員
(郁青クラブ)



い者に対して、手助けしてくれるなどの配慮は。
②いつ頃から車椅子等の設置を行っているのか。
また、市民からの要望等で改善、向上したものは。
③高齢者や障がい者に対して、職員が積極的に動くことや、案内接遇によ

る住民サービスの向上に取り組んだことは何か。
④労働者が減少することで生じる2040年問題が背景にある、本市のスマート自治体の見解は。
⑤自治体の流れは、ワンストップサービスが主流となりつつあるなか、将来の本市の体制に関して見解は。

答 弁 総務部長

①②③様々な来庁者に対し適切な対応するように心がけ、職員は接遇等の研修を受講し、知識の習得、適切な配慮、柔軟な対応が出来るよう努めている。設備の設置に関して、誰もが利用しやすい庁舎となるよう取り組んでいる。
④デジタルデバイド(情報格差が誘発する問



題と解決方法)をなくすよう努める。

⑤移動が困難な方に対し、担当者が入れ替わり対応している。今後もハード面、ソフト面の両方で、寄り添うサービスの向上に努める。

再 質 問

①高齢者や障がい者が、タクシーを利用し来庁された際の民間企業との取り決めや来庁された時の対策は。

②防災などあらゆる事態を想定し、各施設に車椅子以外の歩行器などのサ

ポート具の設置の考えは。

答 弁 総務部長

①運転手の声掛けや電話連絡により対応する。
②車椅子等で対応する。

多くの箇所で見解が

質問

交通事故安全対策について

①交通事故多発危険箇所の対応・要望は、年平均どれくらいあるのか。
②対応要望があった場合、連携と改善対応は。
③要望があった危険箇所は改善されたのか。

答 弁 総務部長

①②③令和3年度から3年間、平均で年間約29件ある。国、県、警察、公安委員会も含め要望書を提出し、必要に応じて対策が実施されている。情報に関しては、共有されていない。

再 質 問

市ウェブサイトで周知することは。

答 弁 総務部長

和歌山県警のウェブサイトをご覧いただきたい。



増田 浩二 議員
(日本共産党議員団)

補聴器購入補助制度実施を

質問

補聴器の購入においては高額な点がある。

補聴器購入への補助制度を実施している自治体が多くある。長寿社会の中で、高齢者施策を進める上でも岩出市の取組として補助制度を考えるべきではないか。

答 弁 生活福祉部長

県内9市では、和歌山市、有田市、新宮市が実施をしている。補聴器購入費用については、全国一律の公的補助制度の創設対応とするよう、近畿市長会等を通じ国に要望しているところである。

現在、補助制度の実施は考えていない。

再 質 問

今年、3月に第9期岩



出市高齢者福祉計画・岩出市介護保険事業計画が作成されている。市長は挨拶の中で「高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくことができるよう、介護予防や自立支援の取組、認知症施策の充実など様々な課題

に対応しながら高齢者福祉施策に取り組んでいく」と書かれている。高齢者の認知予防、引きこもりを防止する上でも補聴器の必要性が求められている。第9期計画で、補聴器関係はどう取り組むのか。

答 弁 生活福祉部長

生活習慣病に関して、難聴に起因するもの、身体機能低下によるものが多くなっていると考える。

認知症は、認知症サポートー養成講座、認知症カフェの実施、健康づくりの取組など様々な事業を実施する。補聴器補助ということだけでなく、総合的に健康寿命の延伸に取り組みたい。第9期計画では、国や県・他市

町村の動向を注視して考えていく。

学校給食費無償化 検討結果は

質問

3月議会で、学校給食費の今後の対応を聞いたが、県の制度内容、実施する中身が明らかでない」と答弁された。3か月が経過したが、県の内容をいつ把握し、今後どう対応するのか。

答 弁 教育部長

7月に要綱の提示、9月に申請の受付が始まる予定と聞いている。

現状として、要綱の中身を含め、いまだに詳細が明らかでなく、市としては県のを要綱が明確にされた時点で判断をしている。

再 質 問

水道料金は、期間限定で免除もしている。来年3月までは、財源確保がされている。少なくとも期間限定の給食費無償化はできると考えるが。

答 弁 教育長

県のを要綱を見て、判断をする。どれだけの条件を市町村に出してくるのか精査し、検討する時間はあると考えている。





いちき りえ 議員
(日本共産党議員団)

高齢者福祉支援の 充実を

①介護予防ポイント事業 質 問

東京都稲城市の取組

介護支援ボランティア活動でスタンプをもらい、スタンプを集めてポイントに換える。申請でポイントの交付金、最大5千円を受け取れる制度。活動を通して張り合いが出てきた、健康になったなど主観的健康感で大きな効果がある。

また、介護保険料引下げにもつながっている。市でも取組を。

答 弁 生活福祉部長

高齢者の活動を支援する仕組みを充実させることは、一定の効果が期待できるものと考えている。昨年、岩出市の介護保険施設と意見交換を実施。施設では、介護助手の受入れに力を入れている。市では、介護助手について高齢者に周知するチラシを作成し、高齢者の社会参加活動の推進に努めていきたいと考えている。

②独り暮らしの方の見守り事業 質 問

東京都文京区独自の取組

話し相手が必要な高齢者の方などを対象とした話し合い員制度。

制度を希望すれば、話し合い員が自宅を定期的に訪問し、話し相手や身の上相談、助言、併せて安否の確認などを行う。必要に応じて区と連携を取る。市でも取り組んではどうか。

答 弁 生活福祉部長

現在、民生委員・児童



委員が75歳以上の独り暮らしの高齢者及び高齢者のみ世帯を、年1回訪問。また、気になる世帯については、随時訪問している。現在のところ、話し合い員制度実施は考えていない。

再 質 問

民生委員・児童委員の担い手不足問題。独り暮らしの高齢者に寄り添う体制を市としてどう考えていくのか。

答 弁 生活福祉部長

高齢者に寄り添い支援する担い手は、年々不足している。

市では、高齢者生活支援等担い手養成研修を実施。市社会福祉協議会とも協力し、高齢者の交流の場サポーター講座というのを実施しているところである。今後も、高齢者を支援する担い手の養成に努める。

③終活サポート体制 質 問

孤独死や孤立死について

て、高齢化が進めば増加することが予想される。市の認識と対策は。

答 弁 生活福祉部長

実数把握はできていない。地域での見守り体制を強化することで、早期に異変に気づき、生命を救うことができると思っている。

再 質 問

終活サポート、終活支援を行う自治体が増加。市に相談窓口を。

答 弁 生活福祉部長

地域包括支援センターで終活の相談に対応する。



メッセージノート
(那賀圏域で作成)

総務建設常任委員会

委員長 福岡 進二
副委員長 大上 正春
委員 福山 晴美
委員 玉田 隆紀
委員 山本 重信
委員 増田 浩二

【視察レポート】

5月21日（火）

○佐賀県武雄市

市民課窓口民間委託
について

武雄市の行政改革プランの中で、民間活力の活用を推進することを目的としている。

市民課窓口業務について、専門的知識・技術・経験を有する民間事業者のノウハウを活用することにより、安定的かつ効率的な窓口サービスを提供。

公権力の行使や行政サービスの企画・立案・相談など「公」が担う業務を市職員に集中させ、多様化する行政ニーズに応える体制を整え持続可能な質の高いサービスを提

供。

また、業務委託により、人事異動に左右されない安定的なサービスを提供でき、繁忙期・繁忙時間に応じ柔軟に対応している。結果として、市民アンケートでは、接遇面で満足度が高くなっている。

所感

窓口業務について、市民サービスの向上を図ることは重要である。

武雄市では、その方法として民間事業者の活用と市職員の連携が合理的に行われており、迅速丁寧な交付事務が行われていると感じた。

本市においても今後、人口減少による労働力不足が予測される。人材の確保及び人材育成の観点から、官民連携による行政サービスの提供も方法の一つであると考えている。



(佐賀県武雄市市民課窓口)

5月22日（水）

○福岡県豊前市

老朽危険家屋等除却促進事業について

豊前市では、近隣住民の生活の環境を著しく脅かす老朽危険家屋に対する対策の一環として、老朽危険家屋の除却費用の一部を補助する事業と併せて、老朽危険家屋除却後の土地の固定資産税を減免している。

人口減少に伴い空き家が増加。豊前市議会においても空き家問題への関心度が高まり、市として「老朽危険家屋等除却促

老朽危険家屋実績（福岡県豊前市）

年度	解体費補助金		固定資産税減免	
	申請件数 (件)	補助額 (千円)	減免件数 (件)	減免額 (千円)
H25	6	1,497	0	0
H26	10	2,876	9	126
H27	10	2,710	20	270
H28	14	3,732	38	448
H29	11	3,026	39	428
H30	6	1,622	45	551
R1	8	2,204	53	679
R2	20	5,562	68	856
R3	15	4,157	82	970
R4	14	3,998	95	1,080

進事業」を実施することとなる。家屋の除却により住宅用地に対する課税標準の特例を受けられなくなり、固定資産税が高くなることから、除却事業の推進を図るため、「老朽危険家屋等除却後の土地に対する固定資産税の減免に関する条例」を制定。

これらの事業の実施により、近隣住民から危険空き家の苦情等は減少したとのこと。

補助対象家屋の増加や近年の物価等高騰により、家屋の除却に係る費用が上昇傾向にあることから、補助金額の財源確保が今後の課題とのことである。

所感

本市において、今後増加すると考えられる「空き家」に関する事業であり、危険家屋を除却した後に生じる問題についての対応を視察した。

人口減少による住宅需要の減少が予測される中、家屋除却後の土地利用方法について、総合的に勘案し実施する必要があると感じた。



豊前市視察の様子

厚生文教常任委員会

委員長 奥田富代子
副委員長 尾和 正之
委員 梅田 哲也
委員 井神 慶久
委員 田中 宏幸
委員 三栖慎太郎
委員 市来 利恵

【視察レポート】

5月15日（水）

○東京都稲城市

介護支援ボランティア ポイント制度について

この制度は、以下の事を目的に、平成19年9月稲城市で全国初の制度としてスタートしている。

- ①高齢者自身の介護予防につながる社会参加活動（自助）を支援する。
- ②元気な高齢者による介護者等への支援ボランティア（互助）を褒賞・奨励する。
- ③地域支援事業費、介護給付費等を直接・間接的に抑制する。

具体的には、①介護支援ボランティア活動でスタンプ押印をもらう。

②スタンプ押印を集めてポイントに換える。③申請でポイントの交付金（最大5千円）を受け取る。

活動の結果、実質的な介護保険料負担の軽減になる一方、高齢者の社会参加を支援し、介護予防の効果が期待でき、元気な高齢者を増やす取り組みである。令和4年度現在では、687市町村で実施されている。

所感

本市でも働く意欲のある元気な高齢者が大勢いる。高齢者が介護施設において、自分の得意分野でボランティアを行うことにより、社会貢献という生きがいや、活動を通じて友人ができたり、健康や体力の増進につながる。また、介護施設においては、補助的な活動をボランティアが担うことで、職員の入所者へ関わる時間が増え、サービスが向上するという利点がある。

本市においては、先進

自治体を研究し、「介護支援ボランティア制度」が導入される事を期待したいと思う。



稲城市視察の様子

5月16日（木）

○東京都文京区

ひとり暮らし等の見守り事業について

文京区では、ひとり暮らしの高齢者等の安全で安心な暮らしを守るため様々なサービスが整えられている。

文京区は現在、人口が増加傾向にあり、高齢者人口比率は19.0%本市24.3%と比べて低い。しかし、令和20年以降は、急速に高齢化率が高くなると予想されている。

ひとり暮らし等の見守り事業

文京区社会福祉協議会に登録しているボランティア（見守りサポーター）が月2回程度自宅を訪問し、声掛けをすること等で見守っていく。

高齢者救急通報システム事業

ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の方が、家庭内での急変時に、専用通報機やペンダントのボタンを押すと、民間会社が受信し、東京消防庁へ救急要請すると同時に、警備員が自宅の鍵を持って駆けつける。

高齢者見守り電球サービス

自宅のトイレ等の電球を通信機器と一体化したLED電球に交換し、電球の点灯・消灯が無い場合、緊急連絡先へメールで異常を通知する。

高齢者見守り扉センサーサービス

トイレのドアや寝室のドアの開閉が無い時、電

話で安否確認をする。連絡がつかない場合、離れて暮らし家族等に知らせる。

高齢者等見守り安心電話サービス

週1回から3回（1回10分程度）コールセンター職員が電話し、安否確認を行う。

所感

高齢者の事情や希望に応じ様々なサービスを提供している。高齢者の孤立や孤独を防ぎ、誰も取り残さないという行政の温かさが感じられ学ぶものが多かった。



文京区視察の様子

キラリ Voice

重要文化財に指定されています。こんなに古い建物なのに、とてもきれいに保存されているのがすばらしいです。

他にも「ねごろ歴史資料館」や「岩出市民俗資料館」では、岩出市・根来のことについて、わかりやすくそして詳しく説明されています。

僕はこれらの施設と出会って、岩出市の歴史が好きになりました。だから、これからもこの岩出の歴史が受け継がれてほしいので、みなさんが歴史に興味を持ってくれたらいいなと思います。



根来小学校 6年 もりもと 達郎さん

僕は岩出市の長い歴史が大好きです。その中でも、一番のお気に入りには「一乗閣」です。「一乗閣」は木造和風意匠の県議会議事堂としては日本最古であり、

等、たくさんすばらしい風景をみることが出来ます。

そして、岩出市の地域の人々はすごく温かいです。私には、登下校中に「いつてらっしゃい」「おかえり」と声をかけてくださる地域の方がたくさんいます。低学年のころは、「声をかけてもいいのかな」と思っていました。低学年のころでは、毎日「おはようございます」「ただいま」と声をかけています。このようにできるのは、地域の人々が温かいおかげです。本当にありがとうございます。

こんな岩出市が私は大好きです。



山崎北小学校 6年 こたに ほたるさん

私は、岩出市が大好きです。岩出市では、四季折々の生きものや植物を見ることが出来ます。

春のサクラ、夏のホタル、秋のモミジ

★ 令和6年第3回定例会（9月）の 本会議開催予定日は、次のとおりです。

- 第3回定例会（9月議会）日程
午前9時30分から
- | | |
|----------|-----------|
| 8月30日（金） | 行政報告・議案説明 |
| 9月5日（木） | 質疑・委員会付託 |
| 13日（金） | 討論・採決 |
| 18日（水） | 一般質問 |
| 19日（木） | 一般質問 |

8月30日（金）の本会議は、午前9時30分から旧和歌山県議会議事堂（根来2347-22）で開会します。みなさん傍聴にお越しください。

なお、9月5日（木）以降の本会議は、午前9時30分から、岩出市役所の市議会議場で開きます。



いわで議会だよりでは、
表紙写真・イラストを募集しています。
詳しくはウェブサイトをご覧ください。



岩出市議会広報常任委員会

「手に取って 読みたくなる 議会だより」を目標に紙面づくりに取り組んでいます

委員長 玉田隆紀 副委員長 市来利恵 委員 福山晴美 奥田富代子 尾和正之 吉本勸曜



岩出市議会ウェブサイト
<https://www.city.iwade.lg.jp/gikai/>

岩出市議会

検索

携帯電話・スマートフォンなどの
バーコードリーダーで読み取ると
議会ウェブサイトへアクセスできます。



市議会ウェブサイト